

Japan Nosocomial Infections Surveillance (JANIS)

# 院内感染対策サーベイランス (JANIS) 事業の概要について

医政局指導課

# JANIS事業について

## 目的

- 全国の医療機関における院内感染症の発生状況、薬剤耐性菌の分離状況及び薬剤耐性菌による感染症の発生状況等を調査し、情報を提供すること

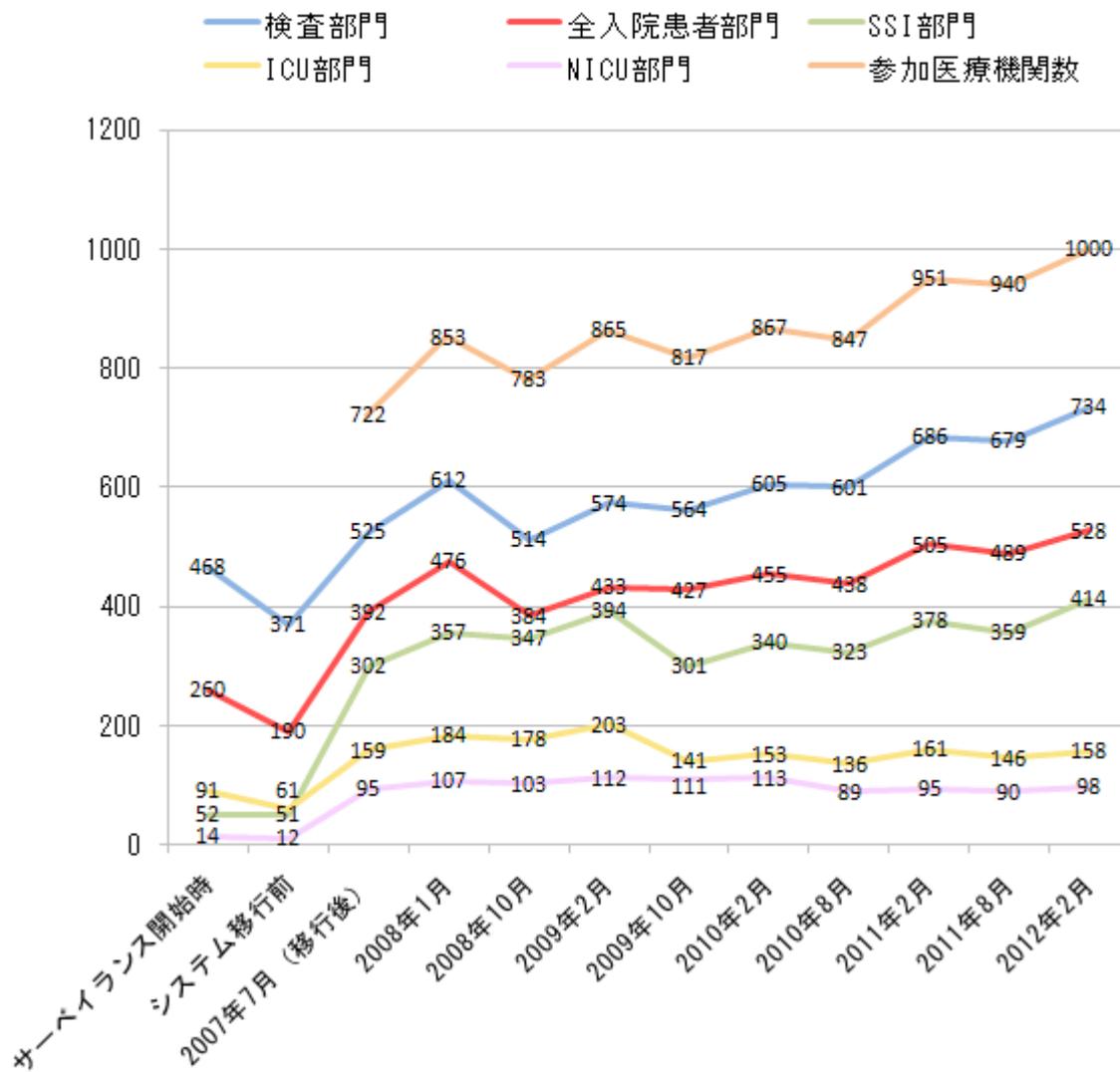
## 概要

- 参加医療機関： \*本サーベイランスの趣意に賛同した原則200床以上の病院
- 5部門で構成 \*任意参加型の事業であり、感染症法に基づく届出とは異なる
  - ・検査部門
  - ・全入院患者部門
  - ・手術部位感染 (SSI) 部門
  - ・集中治療室 (ICU) 部門
  - ・新生児集中治療室 (NICU) 部門
- 公開情報・還元情報
  - ・本サーベイランスの集計・解析評価情報をもとに、一般公開用の期報・年報をホームページ上で公開
  - ・参加医療機関の解析評価情報を、参加医療機関専用ページで還元

## 【 JANISの主な経緯 】

- ◇ 平成12(2000)年 厚生科学研究をもとにJANISが事業化(検査部門、全入院患者部門、ICU部門で開始)
- ◇ 平成14(2002)年 SSI部門、NICU部門が追加となり、現行の5部門となる
- ◇ 平成19(2007)年 公開情報、還元情報のシステムを更新

# 参加医療機関数の推移



平成23(2011)年度新規

参加医療機関数

検査部門: 58

全入院患者部門: 36

SSI部門: 50

ICU部門: 12

NICU部門: 9

# 各部門におけるサーベイランスの目的

## ○検査部門

- 医療機関における主要菌種・主要な薬剤耐性菌の分離状況を明らかにする

## ○全入院患者部門

- 全入院患者を対象とし、主要な薬剤耐性菌(MRSA、VRE、MDRP、PRSP、VRSA、MDRA)による感染症の発生状況を明らかにする

## ○手術部位感染(SSI)部門

- 医療機関における手術部位感染の発生状況を明らかにする

## ○集中治療室(ICU)部門

- 集中治療室で発生する3種類の院内感染症(人工呼吸器関連肺炎、カテーテル関連血流感染症及び尿路感染症)の発生状況を明らかにする

## ○新生児集中治療室(NICU)部門

- 新生児集中治療室で発生する院内感染症の発生状況を明らかにする

# 公開情報・還元情報について

	*公開情報	還元情報
対象	一般向け	個々の参加医療機関向け
閲覧、ダウンロード	JANISサイト (JANISのホームページ)	参加医療機関専用サイト
閲覧の制限	なし、誰でも閲覧可能	自施設のみ閲覧可能
内容	全体集計	全体集計と自施設の集計

\*統計法一般統計調査の承認を受けている

# 各部門の公開・還元周期について

部門	検査		全入院患者		SSI		ICU		NICU	
	公開	還元	公開	還元	公開	還元	公開	還元	公開	還元
月報		○		○						
四半期報	○	○	○							
半期報					○	○	○	○		
年報	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

月報、四半期報、半期報は精度管理前の暫定報  
 年報は精度管理後の確定報

# JANIS公開情報について

## 目的

- 医療機関における主要菌種・主要な薬剤耐性菌の分離状況を明らかにすること

## 概要

- 提出データ： 培養陰性検体の情報も含めた細菌検査に関わる全データ
- 提出頻度： 毎月
- 公開頻度： 四半期報、年報
- 年報公開情報：

- ① データ提出医療機関数
- ② データ提出医療機関数、検体数、分離菌数
- ③ 検査材料別分離菌数割合
- ④ 主要菌分離患者数と全医療機関の分離率分布

(主要分離菌 *S. aureus*, *S. epidermidis*, *S. pneumoniae*, *E. faecalis*, *E. faecium*, *E. coli*, *K. pneumoniae*, *Enterobacter*属, *S. marcescens*, *P. aeruginosa*, *Acinetobacter*属)

- ⑤ 特定の耐性菌分離患者数と全医療機関の分離率分布

(特定の耐性菌 MRSA, VRSA, VRE, MDRP, PRSP, カルバペネム耐性緑膿菌、カルバペネム耐性セラチア、第三世代セファロスポリン耐性大腸菌、第三世代セファロスポリン耐性肺炎桿菌、多剤耐性アシネトバクター、フルオロキノロン耐性大腸菌)

- ⑥ 主要菌の抗菌薬感受性

# 全入院患者部門概要

【公開情報】

## 目的

- 全入院患者を対象とし、医療機関における\*薬剤耐性菌による感染症の発生状況を明らかにすること

\*対象とする薬剤耐性菌

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)

多剤耐性緑膿菌(MDRP)

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)

## 概要

- 提出データ： 入院患者数、感染症発症患者の基本データ、原因菌名、感染症名等
- 提出頻度： 毎月
- 公開頻度： 四半期報、年報
- 年報公開情報：
  - ① データ提出医療機関数
  - ② 新規感染症患者数と罹患率
  - ③ 耐性菌新規感染症患者の性別内訳
  - ④ 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳
  - ⑤ 耐性菌新規感染症患者の検体内訳
  - ⑥ 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳
  - ⑦ 耐性菌新規感染症患者の診療科別内訳

# 手術部位感染（SSI）部門概要

【公開情報】

## 目的

- 医療機関における術後に発生する手術部位感染（SSI）の発生状況を明らかにすること

## 概要

- 提出データ： 選定した手術手技に該当する全手術症例の患者基本データ、手術の種類、術野汚染度、手術部位感染の有無、感染部位等
- 提出頻度： 半年
- 公開頻度： 半期報、年報
- 年報公開情報：
  - ① 手術手技別手術部位感染の発生率
  - ② 手術手技別リスクインデックス別手術部位感染発生率
  - ③ 手術部位感染の原因菌

# 集中治療室(ICU)部門概要

【公開情報】

## 目的

- 集中治療室(ICU)における3種類の院内感染症(人工呼吸器関連肺炎、カテーテル関連血流感染症及び尿路感染症)の発生状況を明らかにすること

## 概要

- 提出データ: 集中治療室の全入室患者(熱傷患者を除く)の基本データ、感染症発症患者の感染症の種類、原因菌等
- 提出頻度: 半年
- 公開頻度: 半期報、年報
- 年報公開情報:
  - ① 集中治療室入室患者数
  - ② 解析対象患者の患者・日
  - ③ 感染症発生率
  - ④ 感染症別原因菌

# 新生児集中治療室(NICU)部門概要【公開情報】

## 目的

- 新生児集中治療室(NICU)における院内感染症の発生状況を明らかにすること

## 概要

- 提出データ： 新生児集中治療室出生体重群別入室患児数、感染症発症患児の出生体重群、原因菌名、感染症分類名等
- 提出頻度： 1年
- 公開頻度： 年報
- 年報公開情報：
  - ① 体重別入院患児数・感染症発症患児数
  - ② 菌種別感染症発症患児数
  - ③ 感染症分類別感染症発症患児数



# 厚生労働省 院内感染対策サーベイランス事業

Google™ カスタム検索

検索

参加医療機関専用  
ログイン

[トップページ](#) > [公開情報](#)

トップ

JANISについて

各部門について

公開情報

参加医療機関一覧

参加・脱退について

提出データ作成方法

提出データ活用方法

よくあるご質問

資料

## 公開情報

全参加医療機関のデータをまとめて集計・解析しており、一般の方もご覧いただけます。各部門名をクリックしてください。

(各参加医療機関のデータをそれぞれ集計・解析した還元情報は、[参加医療機関専用サイト](#)から閲覧することができます。)

▶ [検査部門](#)

▶ [全入院患者部門](#)

▶ [SSI部門](#)

▶ [ICU部門](#)

▶ [NICU部門](#)

各部門毎に結果を公開している

仕様確認書

公開情報は以下の仕様確認書に準拠して作成されています。



# 厚生労働省 院内感染対策サーベイランス事業

Google™ カスタム検索

検索



参加医療機関専用

ログイン

トップ

JANISについて

各部門について

公開情報

参加医療機関一覧

参加・脱退について

提出データ作成方法

提出データ活用方法

よくあるご質問

資料

[トップページ](#) > [公開情報](#) > [検査部門 JANIS\(一般向け\)期報・年報](#)

公開情報

期報は精度管理前の暫定報  
年報は精度管理後の確定報

## ● 検査部門 JANIS(一般向け) 期報・年報

### ■ 新システム

年	四半期報				年報
2011年	<a href="#">1月～3月</a> 集計日:2011.10.31	<a href="#">4月～6月</a> 集計日:2011.10.31	<a href="#">7月～9月</a> 集計日:2011.10.31	<a href="#">10月～12月</a> 集計日:2012.1.19	
2010年	<a href="#">1月～3月</a> 集計日:2011.1.18	<a href="#">4月～6月</a> 集計日:2011.1.20	<a href="#">7月～9月</a> 集計日:2011.1.21	<a href="#">10月～12月</a> 集計日:2011.2.26	<a href="#">1月～12月</a> 集計日:2011.4.7
2009年	<a href="#">1月～3月</a> 集計日:2010.10.20	<a href="#">4月～6月</a> 集計日:2010.10.25	<a href="#">7月～9月</a> 集計日:2010.10.29	<a href="#">10月～12月</a> 集計日:2010.11.2	<a href="#">1月～12月</a> 集計日:2010.10.5
2008年	<a href="#">1月～3月</a> 集計日:2010.9.29	<a href="#">4月～6月</a> 集計日:2010.9.29	<a href="#">7月～9月</a> 集計日:2010.9.29	<a href="#">10月～12月</a> 集計日:2010.9.29	<a href="#">1月～12月</a> 集計日:2010.9.28
2007年	-	-	<a href="#">7月～9月</a> 集計日:2010.9.28	<a href="#">10月～12月</a> 集計日:2010.9.28	<a href="#">7月～12月</a> 集計日:2010.9.27

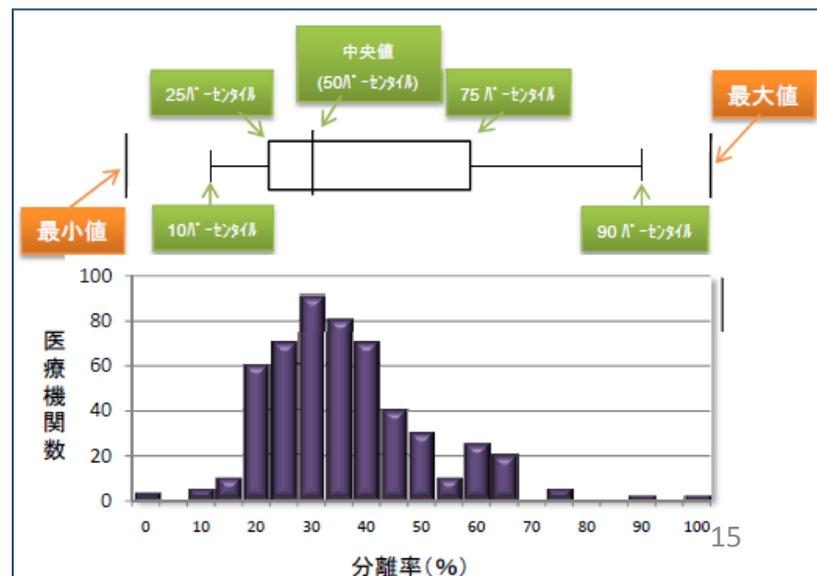
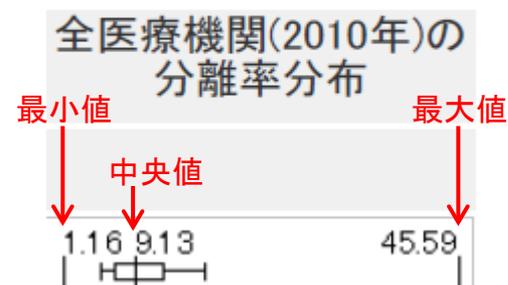
## 院内感染対策サーベイランス公開情報 検査部門 2010年報(1月～12月)

### 5.特定の耐性菌分離患者数と全医療機関の分離率分布

1年単位の  
単純集計

	*2010年 1～3月	*2010年 4～6月	*2010年 7～9月	*2010年 10～12月	*2010年 合計
検体提出患者数	309,644	308,069	301,852	275,001	1,069,216
MRSA	30,515 (9.85%)	30,193 (9.80%)	29,246 (9.69%)	24,762 (9.00%)	100,845 (9.43%)

医療機関の分離率の分布を表示



JANIS参加医療機関への還元について

# JANIS参加医療機関への還元について

・JANISの目的は、全国の医療機関における院内感染症の発生状況、薬剤耐性菌の分離状況及び薬剤耐性菌による感染症の発生状況等を調査し、**【公開情報】**を提供すること。

・サーベイランスの精度を高めるためには、継続的に参加する医療機関を確保する必要があるため、医療機関に対して参加することのメリットを提供することも重要。

①参加医療機関への**【還元情報】**の提供（全5部門）

②2DCM機能の提供（検査部門）2011年4月～

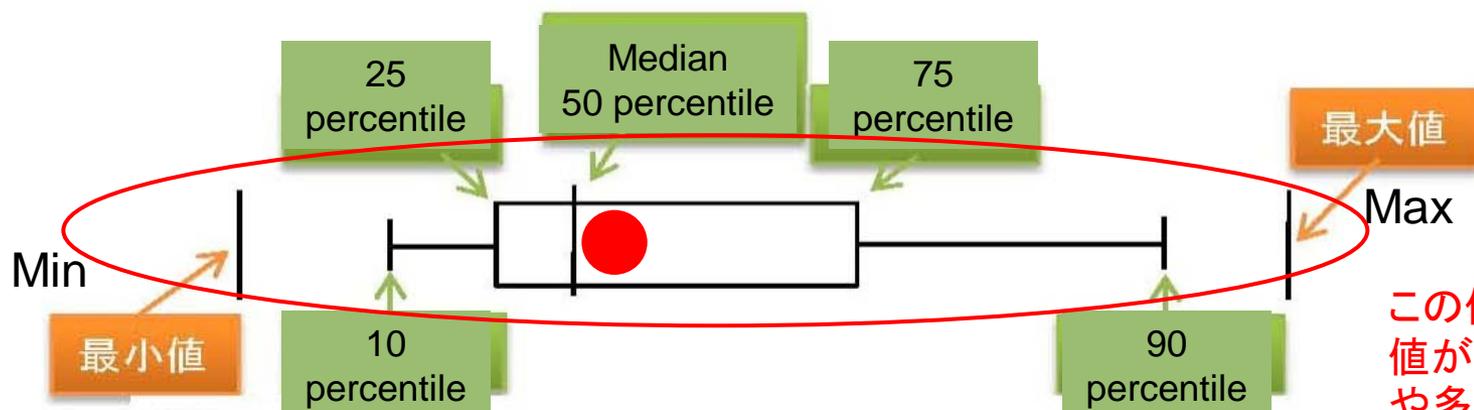
③JANISニュースレターの発行（参加医療機関のみ閲覧可能）

2011年5月～

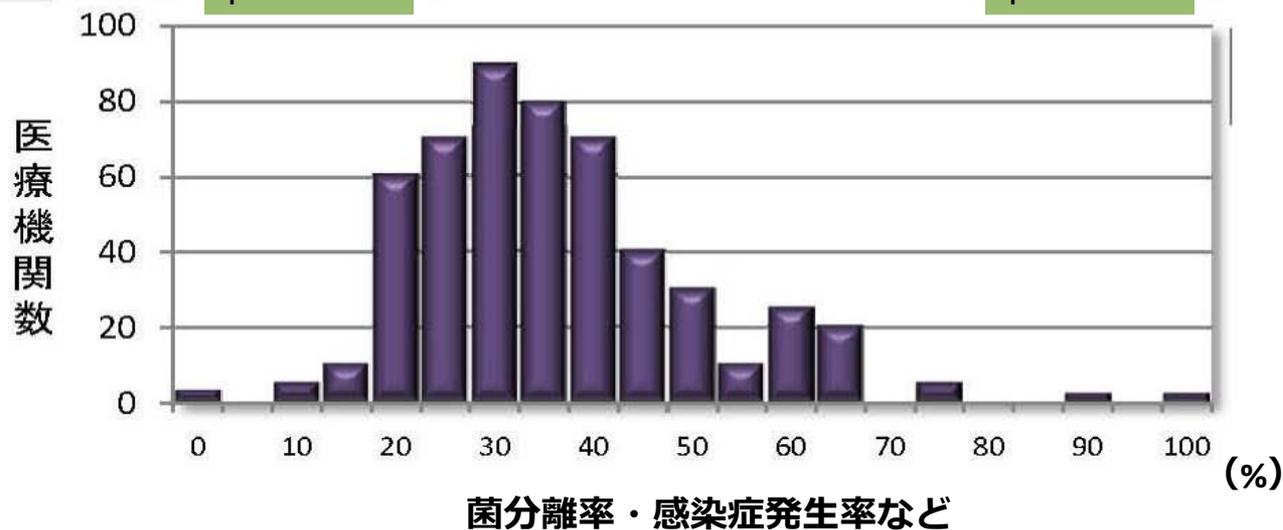
# 箱髷図への自施設表示について

【還元情報】

還元情報においては、全医療機関のデータの分布状況について、箱髷図表示されたものに、参加施設の位置を赤い点で表示することで、視覚的に自施設の位置が確認できる。



この例では、自施設の値が、中央値よりもやや多いことが分かる。



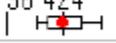
# JANIS還元情報についての一例

【還元情報】

全医療機関における自施設の位置づけ、並びに継続的に参加することで経年的な推移が把握でき、還元情報を「院内感染対策委員会」等の資料として活用できる。

(年報:分離率)

## 1.特定の耐性菌の分離患者数(分離率)

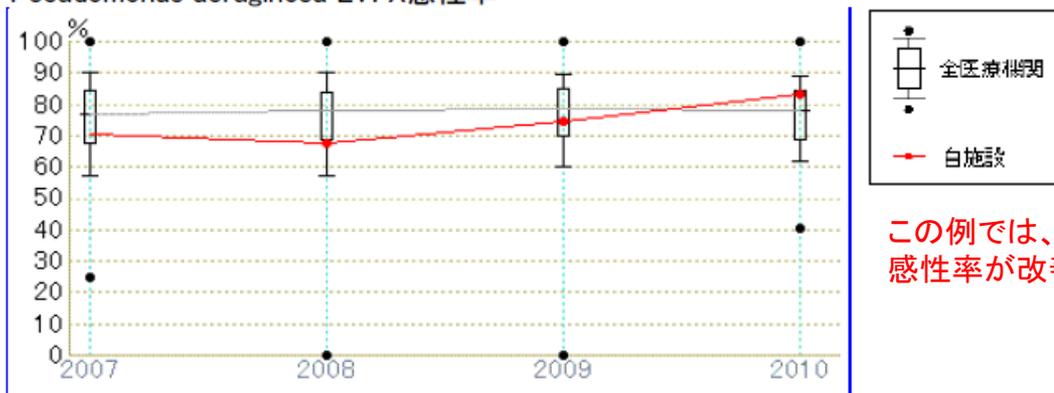
	2007年	2008年	2009年	2010年	全医療機関の 分離率(2010年)	全医療機関(2010年)の分離率分布と 自施設(2010年)分離率との比較
検体提出患者数(人) (100床あたり)	1,558 (213.13)	3,039 (415.73)	3,003 (410.81)	3,003 (410.81)	1,069,216 (457.82)	36.424      2,024
MRSA	224 (14.38%)	357 (11.75%)	297 (9.89%)	299 (9.96%)	100,845 (9.43%)	1.16.913      45.58

この例では、経年的にMRSA分離率が低下していることが分かる

(年報:抗菌薬感性率)

## 3.主要菌種の抗菌薬感性率

*Pseudomonas aeruginosa* LVFX感性率



この例では、経年的に*Pseudomonas aeruginosa*に対するLVFXの感性率が改善していることが分かる



# JANISニュースレターの発行

2011年5月発行(年4回発行)

## JANIS通信 VOL.1



院内感染対策サーベイランス(JANIS)事務局 URL: <http://www.nih-janis.jp/>

このたびの東日本大震災で被災されたみなさまには心よりお見舞い申し上げます。被災地の日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

JANIS事務局一同

### JANIS通信がついに創刊!

新緑のまぶしい季節となりましたが、いかがお過ごしでしょうか。早いもので2000年にJANISが事業化されてから10年が経ちました。2007年のシステム更新や院内感染への社会的関心の高まりなどを経て、おかげさまでJANISは全国規模のサーベイランスとして定着してまいりました。2007年JANISサイト構築以来、数回にわたって更新・改良を重ねてきましたが、サーベイランスデータの提出方法や還元情報の見方や理解についてはまだまだ伝わりづらい部分も多く、また公開情報や薬剤耐性菌・感染制御に関する資料についても今まで以上に多くの方にご活用いただきたいと思っております。

JANISでは次の10年に向け、参加医療機関のみなさまのご協力のもと、さらに発展していきたいと考えており、その一端として今年度からニュースレターを発行する運びとなりました。JANIS事務局がわかりやすく情報発信していくツールとして、四半期ごとに発行する予定ですので、今後ともどうぞよろしくお祈りいたします。

### CONTENTS

#### 2011年JANISの進化

- ・1月より74医療機関が新参加。
- ・新しいロゴマーク誕生。
- ・2月1日「院内感染警備システム」開始。
- ・公開情報2010年四半期版リリース!
- ・登録抹消について。
- ・各部門からの新着情報(検索部門/全入院患者部門/検査部門/感染制御部門)

#### JANISインフォメーション

- ・病原微生物検出情報(IASPI) 1月号にJANISが特集されました。
- ・薬剤耐性菌ポスターの紹介
- ・第21回欧州臨床微生物感染症学会議(ECCMID)

#### 事務連絡

- ・「お問い合わせフォーム」からご連絡ください。
- ・責任者・担当者の変更をしてください。
- ・JANIS通信ではみなさまのご意見を募集しています。
- ・JANISの事務局員をご紹介します。

SPECIAL ISSUE

## CSVファイルを活用しよう!



### そもそも CSVファイルって?

CSVとはcomma separated value、つまりカンマ「,」で区切った値を並べたファイル形式です。汎用性が高く、多くのソフトで利用できるため、異なるアプリケーション間のデータ交換にとっても便利です。表計算ソフトやデータベースソフトなどの保存データの形式となっています。大量の情報を効率的に処理するのに適していて、即座に表やグラフとして活用し、適切に表示できるというメリットがあります。

### CSVファイルのダウンロード方法

PDFファイルと同様に、参加医療機関専用サイトにログインし、「還元情報ダウンロード」でファイル選択をしてください。

#### <検査部門>

区分	情報	形式	更新
1	月報	CSV	金
2	月報	CSV	金
3	月報	CSV	金
4	月報	CSV	金
5	月報	CSV	金
6	月報	CSV	金
7	月報	CSV	金
8	月報	CSV	金
9	月報	CSV	金
10	月報	CSV	金
11	月報	CSV	金
12	月報	CSV	金
13	月報	CSV	金
14	月報	CSV	金
15	月報	CSV	金
16	月報	CSV	金
17	月報	CSV	金
18	月報	CSV	金
19	月報	CSV	金
20	月報	CSV	金
21	月報	CSV	金
22	月報	CSV	金
23	月報	CSV	金
24	月報	CSV	金
25	月報	CSV	金
26	月報	CSV	金
27	月報	CSV	金
28	月報	CSV	金
29	月報	CSV	金
30	月報	CSV	金
31	月報	CSV	金
32	月報	CSV	金
33	月報	CSV	金
34	月報	CSV	金
35	月報	CSV	金
36	月報	CSV	金
37	月報	CSV	金
38	月報	CSV	金
39	月報	CSV	金
40	月報	CSV	金
41	月報	CSV	金
42	月報	CSV	金
43	月報	CSV	金
44	月報	CSV	金
45	月報	CSV	金
46	月報	CSV	金
47	月報	CSV	金
48	月報	CSV	金
49	月報	CSV	金
50	月報	CSV	金
51	月報	CSV	金
52	月報	CSV	金
53	月報	CSV	金
54	月報	CSV	金
55	月報	CSV	金
56	月報	CSV	金
57	月報	CSV	金
58	月報	CSV	金
59	月報	CSV	金
60	月報	CSV	金
61	月報	CSV	金
62	月報	CSV	金
63	月報	CSV	金
64	月報	CSV	金
65	月報	CSV	金
66	月報	CSV	金
67	月報	CSV	金
68	月報	CSV	金
69	月報	CSV	金
70	月報	CSV	金
71	月報	CSV	金
72	月報	CSV	金
73	月報	CSV	金
74	月報	CSV	金
75	月報	CSV	金
76	月報	CSV	金
77	月報	CSV	金
78	月報	CSV	金
79	月報	CSV	金
80	月報	CSV	金
81	月報	CSV	金
82	月報	CSV	金
83	月報	CSV	金
84	月報	CSV	金
85	月報	CSV	金
86	月報	CSV	金
87	月報	CSV	金
88	月報	CSV	金
89	月報	CSV	金
90	月報	CSV	金
91	月報	CSV	金
92	月報	CSV	金
93	月報	CSV	金
94	月報	CSV	金
95	月報	CSV	金
96	月報	CSV	金
97	月報	CSV	金
98	月報	CSV	金
99	月報	CSV	金
100	月報	CSV	金

#### <全入院患者部門>

区分	情報	形式	更新
1	月報	CSV	金
2	月報	CSV	金
3	月報	CSV	金
4	月報	CSV	金
5	月報	CSV	金
6	月報	CSV	金
7	月報	CSV	金
8	月報	CSV	金
9	月報	CSV	金
10	月報	CSV	金
11	月報	CSV	金
12	月報	CSV	金
13	月報	CSV	金
14	月報	CSV	金
15	月報	CSV	金
16	月報	CSV	金
17	月報	CSV	金
18	月報	CSV	金
19	月報	CSV	金
20	月報	CSV	金
21	月報	CSV	金
22	月報	CSV	金
23	月報	CSV	金
24	月報	CSV	金
25	月報	CSV	金
26	月報	CSV	金
27	月報	CSV	金
28	月報	CSV	金
29	月報	CSV	金
30	月報	CSV	金
31	月報	CSV	金
32	月報	CSV	金
33	月報	CSV	金
34	月報	CSV	金
35	月報	CSV	金
36	月報	CSV	金
37	月報	CSV	金
38	月報	CSV	金
39	月報	CSV	金
40	月報	CSV	金
41	月報	CSV	金
42	月報	CSV	金
43	月報	CSV	金
44	月報	CSV	金
45	月報	CSV	金
46	月報	CSV	金
47	月報	CSV	金
48	月報	CSV	金
49	月報	CSV	金
50	月報	CSV	金
51	月報	CSV	金
52	月報	CSV	金
53	月報	CSV	金
54	月報	CSV	金
55	月報	CSV	金
56	月報	CSV	金
57	月報	CSV	金
58	月報	CSV	金
59	月報	CSV	金
60	月報	CSV	金
61	月報	CSV	金
62	月報	CSV	金
63	月報	CSV	金
64	月報	CSV	金
65	月報	CSV	金
66	月報	CSV	金
67	月報	CSV	金
68	月報	CSV	金
69	月報	CSV	金
70	月報	CSV	金
71	月報	CSV	金
72	月報	CSV	金
73	月報	CSV	金
74	月報	CSV	金
75	月報	CSV	金
76	月報	CSV	金
77	月報	CSV	金
78	月報	CSV	金
79	月報	CSV	金
80	月報	CSV	金
81	月報	CSV	金
82	月報	CSV	金
83	月報	CSV	金
84	月報	CSV	金
85	月報	CSV	金
86	月報	CSV	金
87	月報	CSV	金
88	月報	CSV	金
89	月報	CSV	金
90	月報	CSV	金
91	月報	CSV	金
92	月報	CSV	金
93	月報	CSV	金
94	月報	CSV	金
95	月報	CSV	金
96	月報	CSV	金
97	月報	CSV	金
98	月報	CSV	金
99	月報	CSV	金
100	月報	CSV	金

いまさらにも聞けなかった!



COLUMN

### どうしてCSVファイルがあるの?

JANISではこれまで集計対象医療機関における自施設の情報からなる「検索部(図3)」や、項目別のグラフや表(図4・図6・図8)をPDFファイルにより還元してきました。しかし、PDFファイルの元データを使って、自施設の目的に合うグラフや表を作りたいとのご要望があり、2011年9月から項目別CSVファイルの還元もすることになりました。

- ・参加医療機関において閲覧可能
- ・JANISの活用方法などを紹介